

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-081021

(43)Date of publication of application : 19.03.2003

(51)Int.Cl.

B60R 13/02

B60J 5/00

B60R 21/04

(21)Application number : 2001-277025

(71)Applicant : KASAI KOGYO CO LTD

(22)Date of filing : 12.09.2001

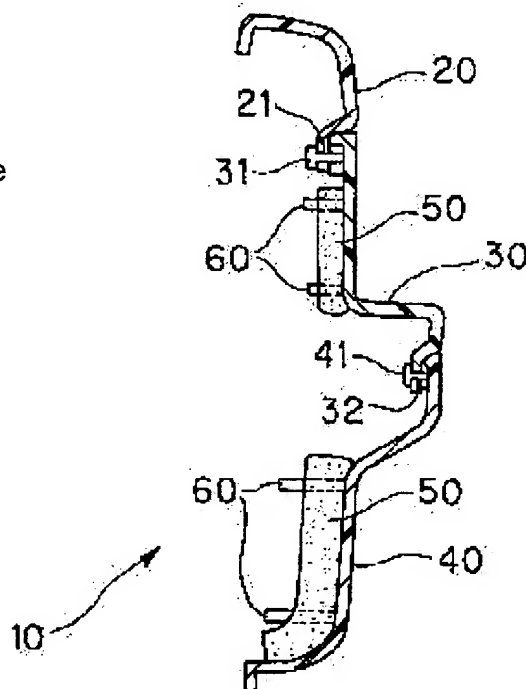
(72)Inventor : AOSHIMA DAISUKE

### (54) FIXING STRUCTURE OF CUSHION PAD IN AUTOMOBILE INTERNAL COMPONENT

#### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily attach cushion pad at a low cost and facilitate a recycling work by dispensing with adhesion fixing in a fixing structure of the cushion pad for fixing the cushion pad to the rear surfaces of a door trim, a luggage side trim, etc.

SOLUTION: A hole part 51 or a slit 53 is opened in the cushion pad 50, while a lock projection 60 is projected on the rear surface of an interior component 10 and engaged in the hole part 51 or the slit 53 of the lock projection 60. This constitution can easily fix the cushion pad 50 to the rear surface of the interior component 10 without any use of an adhesive and facilitate the separation of the cushion pad 50 on recycling.



#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or

**BEST AVAILABLE COPY**

application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

**BEST AVAILABLE COPY**

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開 2003-81021

(P 2003-81021 A)

(43) 公開日 平成15年3月19日 (2003. 3. 19)

(51) Int. Cl. 7

識別記号

F I

テーマコード (参考)

B 6 0 R 13/02

B 6 0 R 13/02

B 3D023

B 6 0 J 5/00

21/04

C

B 6 0 R 21/04

B 6 0 J 5/00

5 0 1 C

審査請求 未請求 請求項の数 5

O L

(全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-277025 (P2001-277025)

(22) 出願日 平成13年9月12日 (2001. 9. 12)

(71) 出願人 000124454

河西工業株式会社

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地

(72) 発明者 青島 大輔

神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 河西  
工業株式会社内

(74) 代理人 100069431

弁理士 和田 成則

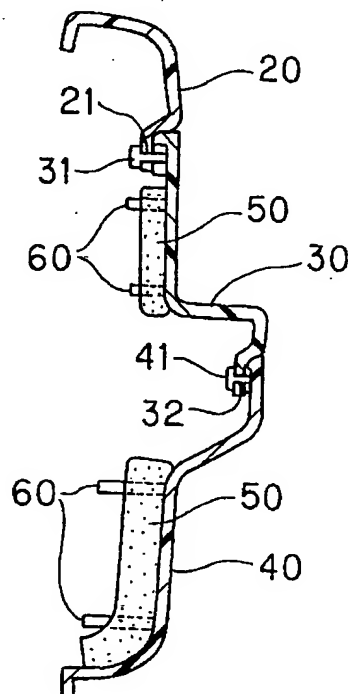
F ターム (参考) 3D023 BA01 BB08 BB09 BD03 BD08  
BE02 BE35 BE36

(54) 【発明の名称】 自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造

(57) 【要約】

【課題】 ドアトリム、ラゲージサイドトリム等の裏面にクッションパッドを固定するクッションパッドの固定構造であって、接着固定を廃止することにより、簡単かつ廉価にクッションパッドを取り付けることができ、しかも、リサイクル作業を容易に行なう。

【解決手段】 クッションパッド50に孔部51、あるいはスリット53を開設する一方、内装部品10の裏面に係止用突起60を突設し、係止用突起60を孔部51、あるいはスリット53に係着することにより、接着剤を使用することなくクッションパッド50を内装部品10の裏面に簡単に固定するとともに、リサイクル時にクッションパッド50の分離を容易なものとする。



REST AVAILABLE COPY

10

(2)

特開2003-81021

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動車用内装部品（10）に、吸音性、あるいは緩衝性を付与するクッションパッド（50）を固定するクッションパッドの固定構造であって、自動車用内装部品（10）の裏面に係止用突起（60）が設けられる一方、クッションパッド（50）に係止部（A）が設定され、該係止部（A）に上記係止用突起（60）に係止することにより、クッションパッド（50）を固定することを特徴とする自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造。

【請求項2】 クッションパッド（50）の上下側に各々単一、あるいは複数の係止部（A）が設けられていることを特徴とする請求項1に記載の自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造。

【請求項3】 クッションパッド（50）の上部側に単一、あるいは複数の係止部（A）が設定され、クッションパッド（50）の下部は自重により自動車用内装部品（10）の裏面に添装されていることを特徴とする請求項1に記載の自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造。

【請求項4】 自動車用内装部品（10）に設けられる係止用突起（60）は、対向するフック部（61）を有する一対の爪片（62）からなり、これに対応するクッションパッド（50）の係止部（A）は、橋掛け部（52）を境にして開設される一対の孔部（51）から構成されていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造。

【請求項5】 係止用突起（60）は、プレート片（63）の先端に係止片（64、65、66、67）が形成され、この係止用突起（60）に係着するクッションパッド（50）の係止部（A）は、係止片（64、65、66、67）を通過させた後、係止片（64、65、66、67）の脱落を規制するように開設されているスリット（53）から構成されていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、自動車用ドアトリム、ピラートリム等の自動車用内装部品の裏面に固定されるクッションパッドの固定構造に係り、特に、自動車用内装部品に簡単に組み付けることができるとともに、自動車用内装部品のリサイクル作業時の解体作業を容易に行なうことができる自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造に関する。

【0002】

【従来の技術】通常、自動車の室内側には、各種内装部品が装着されている。図13は、自動車のドアパネルの室内面に装着される自動車用ドアトリム1を示すもの

2

で、この自動車用ドアトリム1は、図14に示すように、ドアトリムアップパー2、ドアトリムセンター3、ドアトリムロア4の上下3分割体から構成されており、ドアトリムアップパー2とドアトリムセンター3とは、ドアトリムセンター3に設けた取付用ボス3aをドアトリムアップパー2の取付孔2a内に挿入して取付用ボス3aの先端をカシメ加工することにより、ドアトリムアップパー2とドアトリムセンター3とが接合固定されている。

【0003】更に、ドアトリムセンター3とドアトリムロア4とは、ドアトリムロア4の裏面に突設した取付用ボス4aをドアトリムセンター3の取付孔3b内に挿入した後、取付用ボス4aの先端をカシメ加工することにより、ドアトリムセンター3とドアトリムロア4との接合がなされている。

【0004】そして、ドアトリムアップパー2、ドアトリムセンター3、ドアトリムロア4の接合体からなるドアトリム1の裏面には、吸音性、あるいは緩衝性を付与する目的でフェルトやポリウレタンフォーム等のクッションパッド5が固定されている。

【0005】従来では、この種クッションパッド5は、ホットメルト系接着剤6を介してドアトリムセンター3、あるいはドアトリムロア4の裏面に接着固定されているのが実情である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】このように、自動車用ドアトリム1の裏面に固定されるクッションパッド5は、ホットメルト系接着剤6により固定されているため、例えば、リサイクルを行なう際、ドアトリム1からクッションパッド5を剥離操作することが困難となり、リサイクルが行なえず、資源の再利用に不向きであるという欠点が指摘されている。

【0007】更に、クッションパッド5の組付作業において、ホットメルト系接着剤6の塗布機など、設備が多くなり、かつ作業者が接着剤を塗布した後、適正箇所にクッションパッド5を位置決め貼付する作業が非常に面倒であり、組付作業に多くの時間を費やすという問題点も同時に指摘されている。

【0008】この発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、自動車用ドアトリムやピラートリム等の裏面に吸音、あるいは緩衝を目的として固定されるフェルト、ポリウレタンフォーム、その他の発泡シート等のクッションパッドを固定するクッションパッドの固定構造であって、クッションパッドの固定作業が簡単かつ廉価に実施できるとともに、ドアトリムやピラートリムのリサイクル作業において、トリムからクッションパッドを容易に分離することができる自動車用内装部品におけるクッションパッドの固定構造を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため

50

【図6】本発明に係るクッションパッドの固定構造の第1実施形態を示すもので、2点係止ポイントを示すクッションパッドの平面図である。

【図7】図6に示すクッションパッドの固定構造を示す自動車用ドアトリムの断面図である。

【図8】本発明に係るクッションパッドの固定構造の第1実施形態における係止用突起の変形例を示す説明図である。

【図9】本発明に係るクッションパッドの固定構造の第2実施形態の構成を示す説明図である。

【図10】本発明に係るクッションパッドの固定構造の第2実施形態の構成を示す説明図である。

【図11】本発明に係るクッションパッドの固定構造の第2実施形態の構成を示す説明図である。

【図12】本発明に係るクッションパッドの固定構造の第2実施形態の構成を示す説明図である。

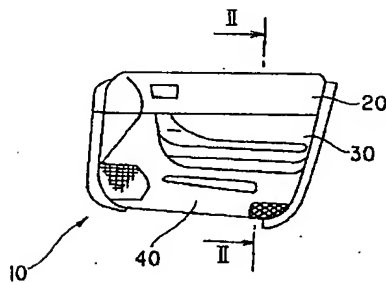
【図13】従来の自動車用ドアトリムを示す正面図である。

【図14】図13中XIV-XIV線断面図である。

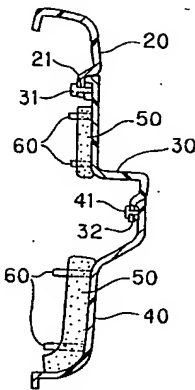
【符号の説明】

- 10 自動車用ドアトリム
- 20 ドアトリムアップパー
- 30 ドアトリムセンター
- 40 ドアトリムロア
- 50 クッションパッド
- 51 孔部
- 52 橋掛け部
- 53 スリット
- 60 係止用突起
- 61 フック部
- 62 爪片
- 63 プレート片
- 64 折曲片
- 65 クリップ片
- 66, 67 抜け止め片
- A 係止部

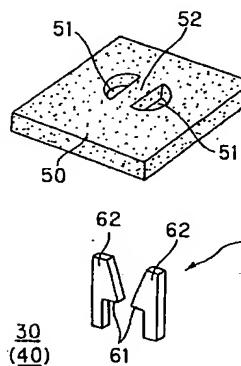
【図1】



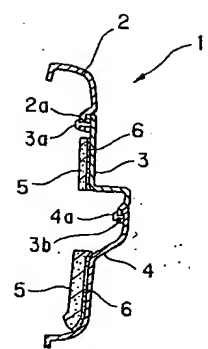
【図2】



【図3】



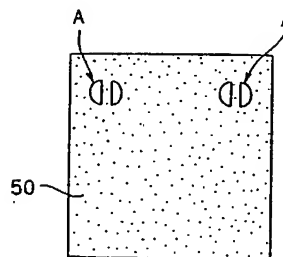
【図14】



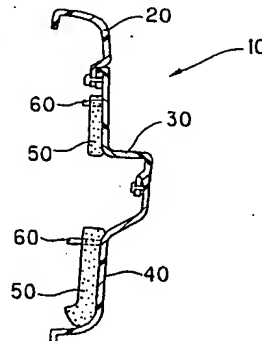
- 10 自動車用ドアトリム
- 20 ドアトリムアップパー
- 30 ドアトリムセンター
- 40 ドアトリムロア
- 50 クッションパッド
- 51 孔部
- 52 橋掛け部
- 53 スリット

- 60 係止用突起
- 61 フック部
- 62 爪片
- 63 プレート片
- 64 折曲片
- 65 クリップ片
- 66, 67 抜け止め片
- A 係止部

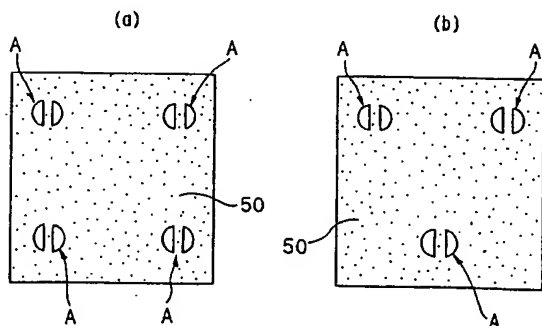
【図6】



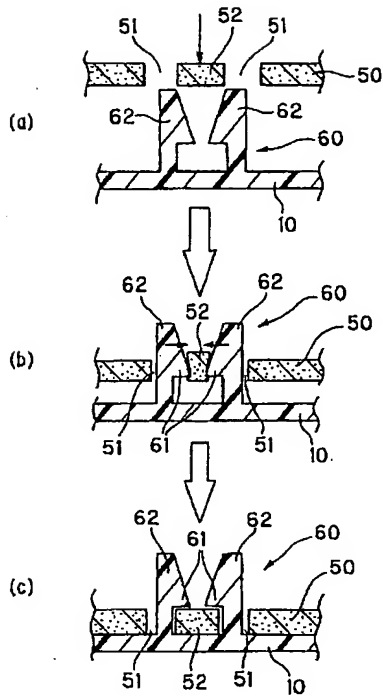
【図7】



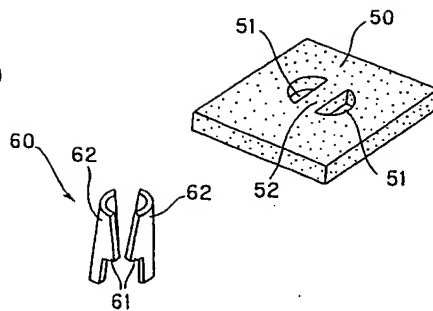
【図5】



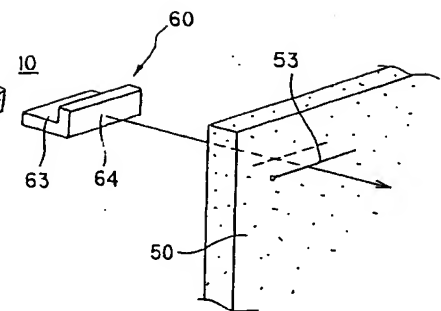
【図 4】



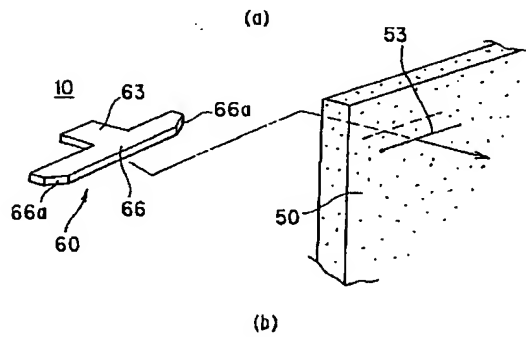
【図 8】



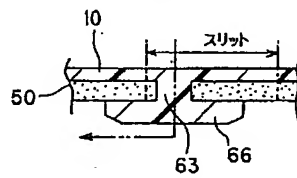
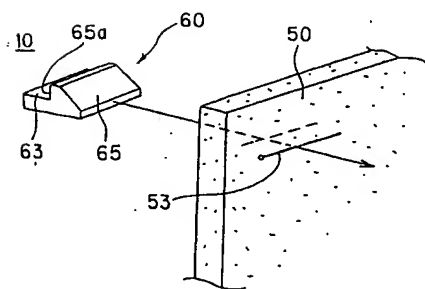
【図 9】



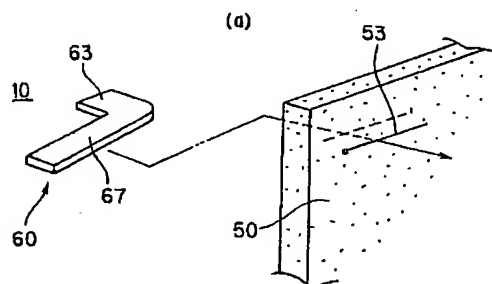
【図 11】



【図 10】



【図 12】



【図 13】

